

2016年3月期 第2四半期決算説明会

GMOクリックホールディングス

STOCK CODE : 7177

代表執行役社長 鬼頭 弘泰
執行役 財務・IR担当 山本 樹

2015年10月23日

1. 結論と要約
2. 2016年3月期2Q決算概要
3. 今後の展望と概況

業績

- ・ 営業収益は前年同期比**48.5%増**の**155.2億円**、引き続き高水準
- ・ 販管費は前年同期比**24.2%増**の**88.3億円**、取引関係費等が増加
- ・ 営業利益は前年同期比**117.6%増**の**58.1億円**、引き続き好調

営業収益の内訳

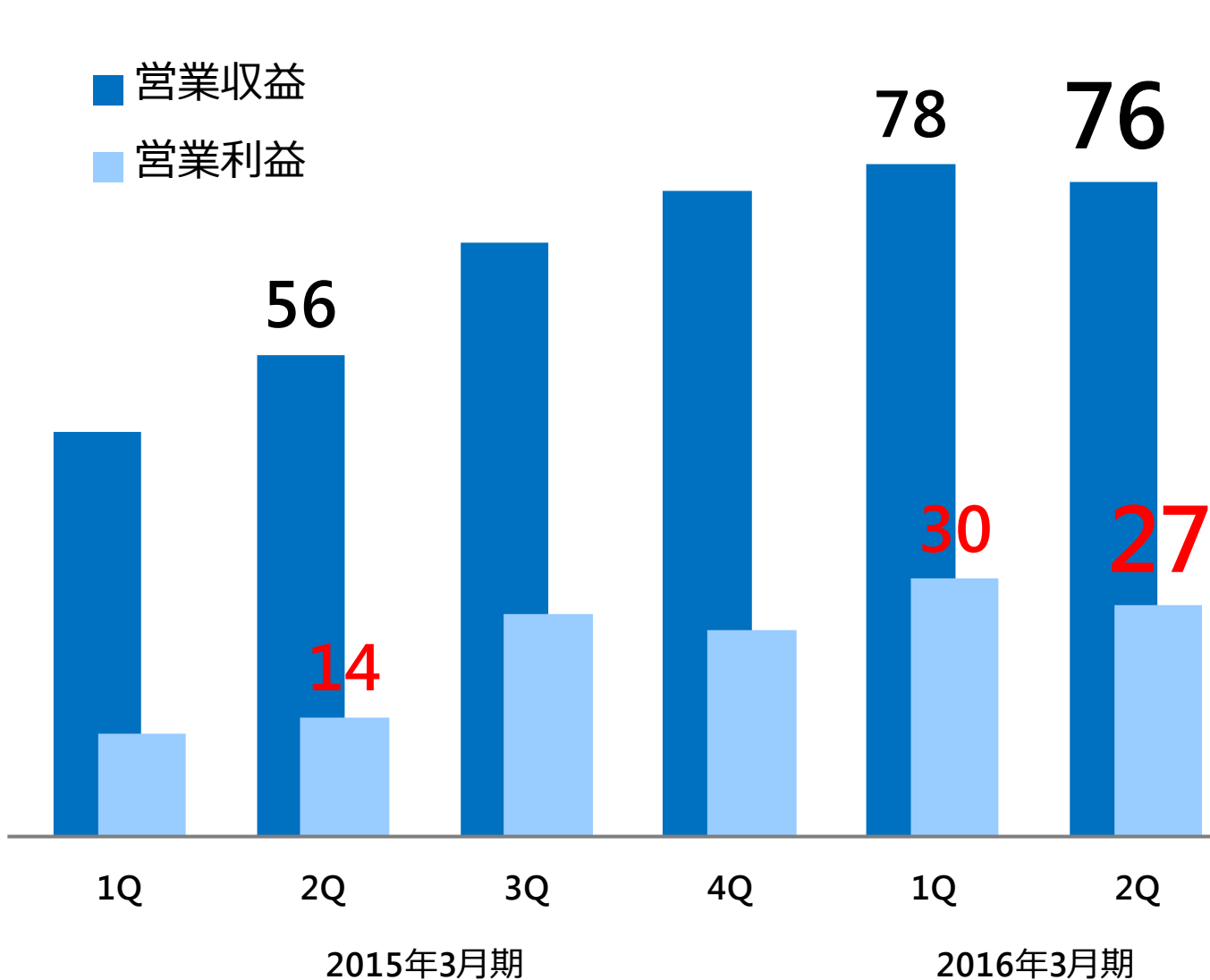
- ・ 受入手数料
前年同期比**34.9%増**の**19.4億円**
株式市場全体の売買代金の増加などにより増収
- ・ トレーディング損益
前年同期比**56.8%増**の**116.0億円**
FXの売買代金の増加などにより増収
- ・ 金融収益
前年同期比**32.4%増**の**19.5億円**
株式信用取引の建玉増加により増収

FX等の店頭デリバティブ取引が好調で増収増益

(単位：億円)	2015年3月期 上半期 (4-9月)	2016年3月期 上半期 (4-9月)	前年同期比
営業収益	104.5	155.2	+ 48.5%
営業利益	26.7	58.1	+ 117.6%
経常利益	26.7	58.0	+ 116.9%
最終利益	18.3	34.4	+ 87.2%

(億円)

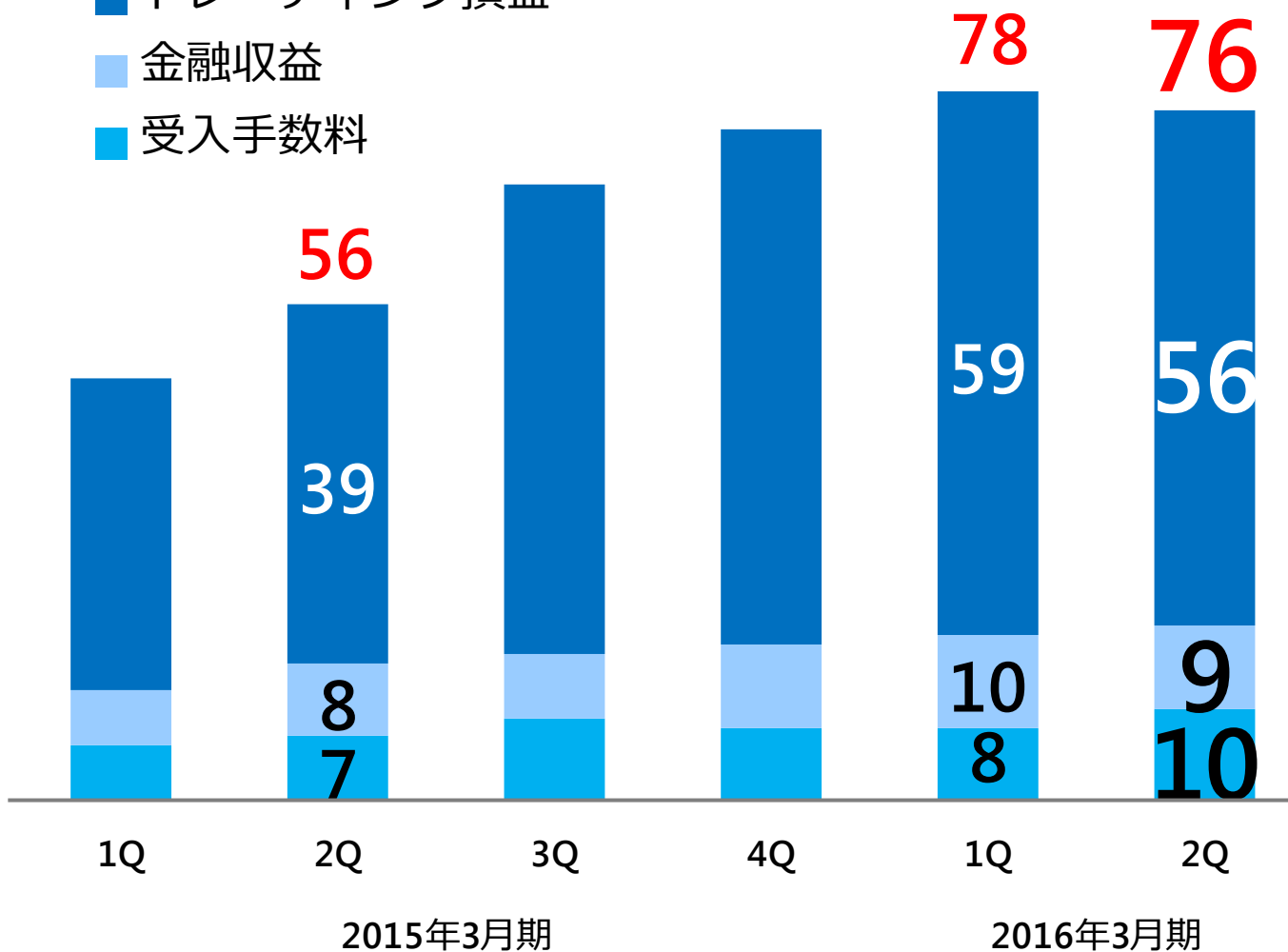
■ 営業収益
■ 営業利益



営業収益
営業利益ともに
高水準キープ

(億円)

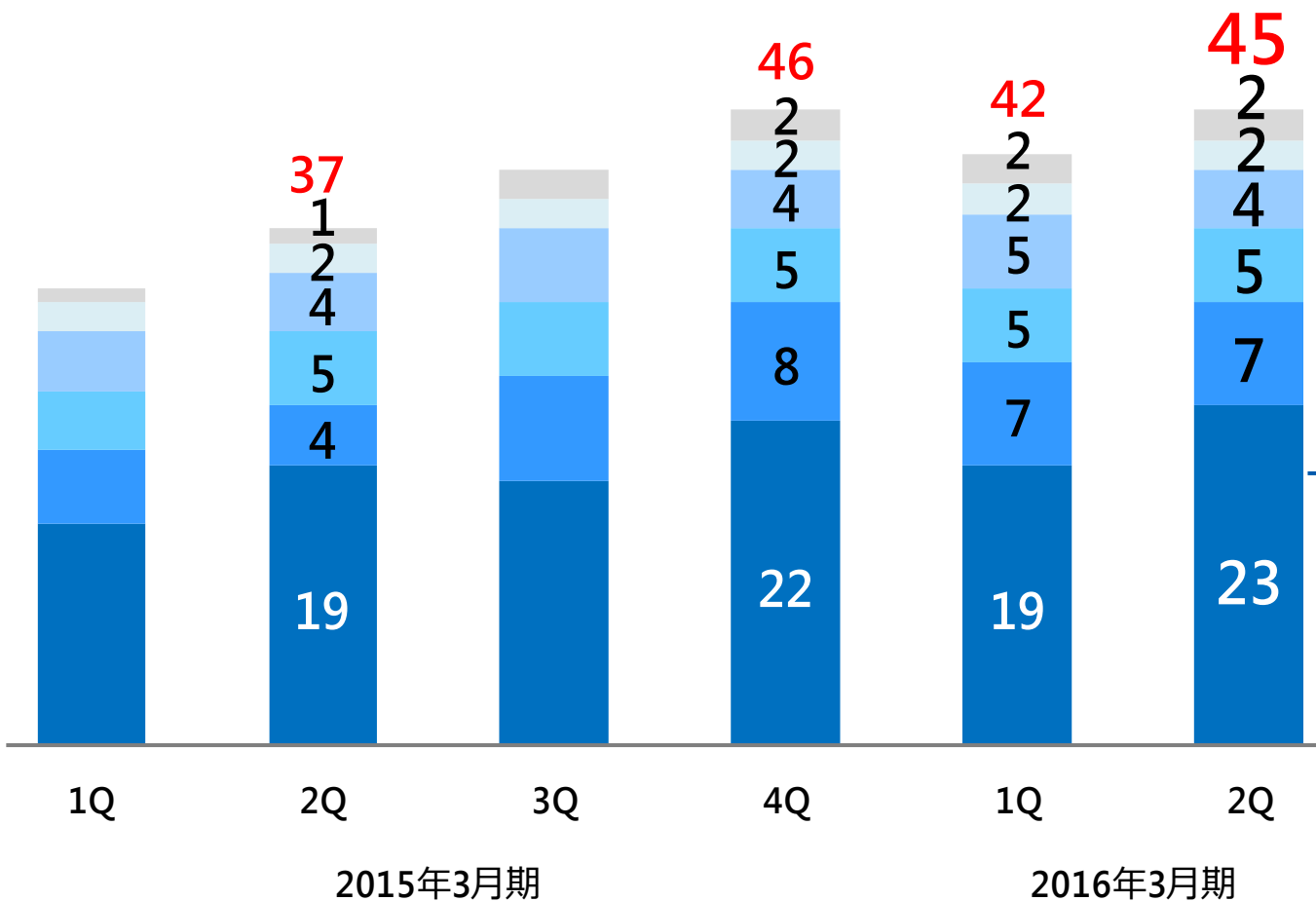
- トレーディング損益
- 金融収益
- 受入手数料



FX収益は
前四半期比で
微増

(億円)

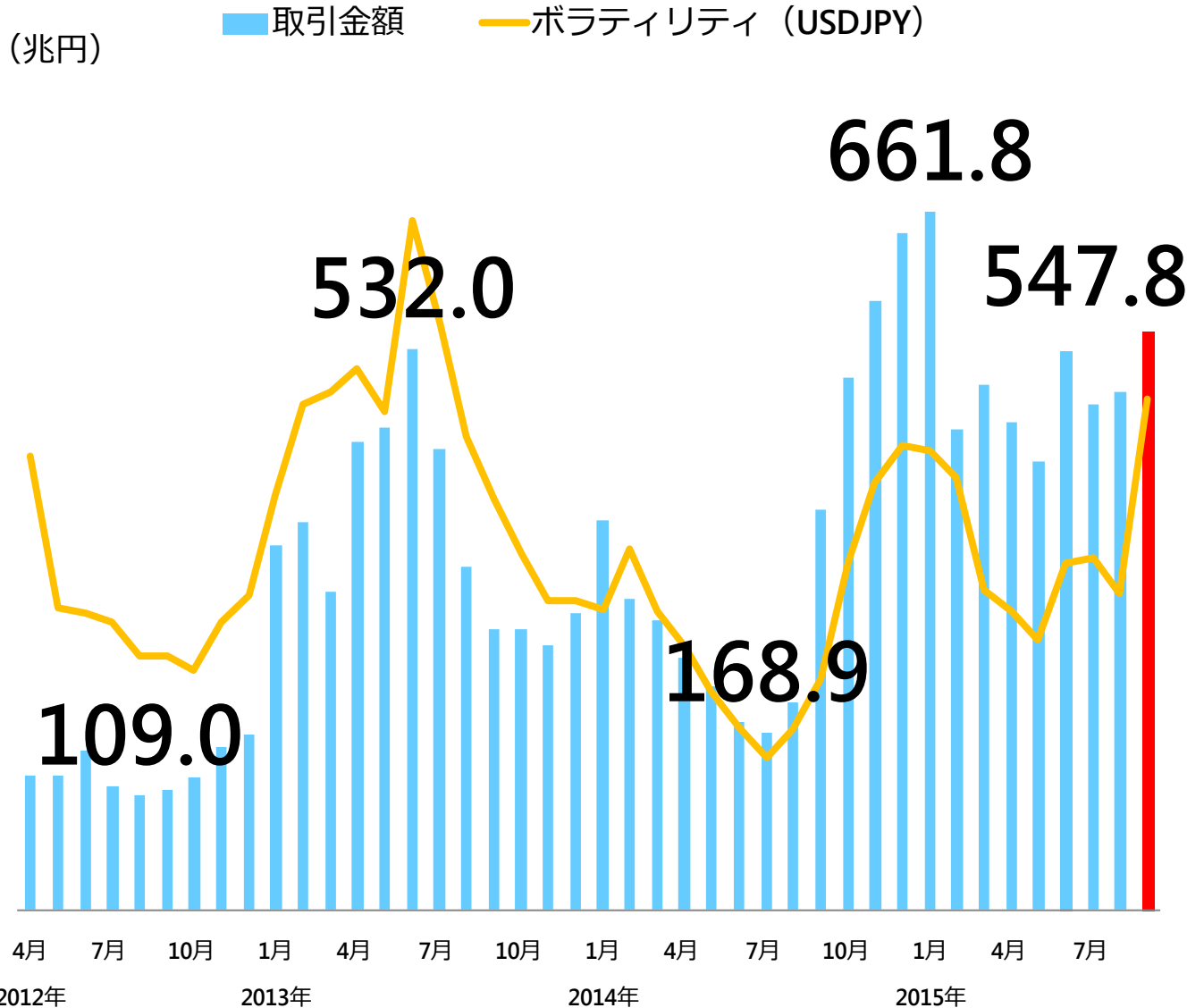
- 取引関係費
- 人件費
- 不動産関係費
- 事務費
- 減価償却費
- その他



CM露出強化
前四半期比で
広告宣伝費・
支払手数料等の
取引関係費増加

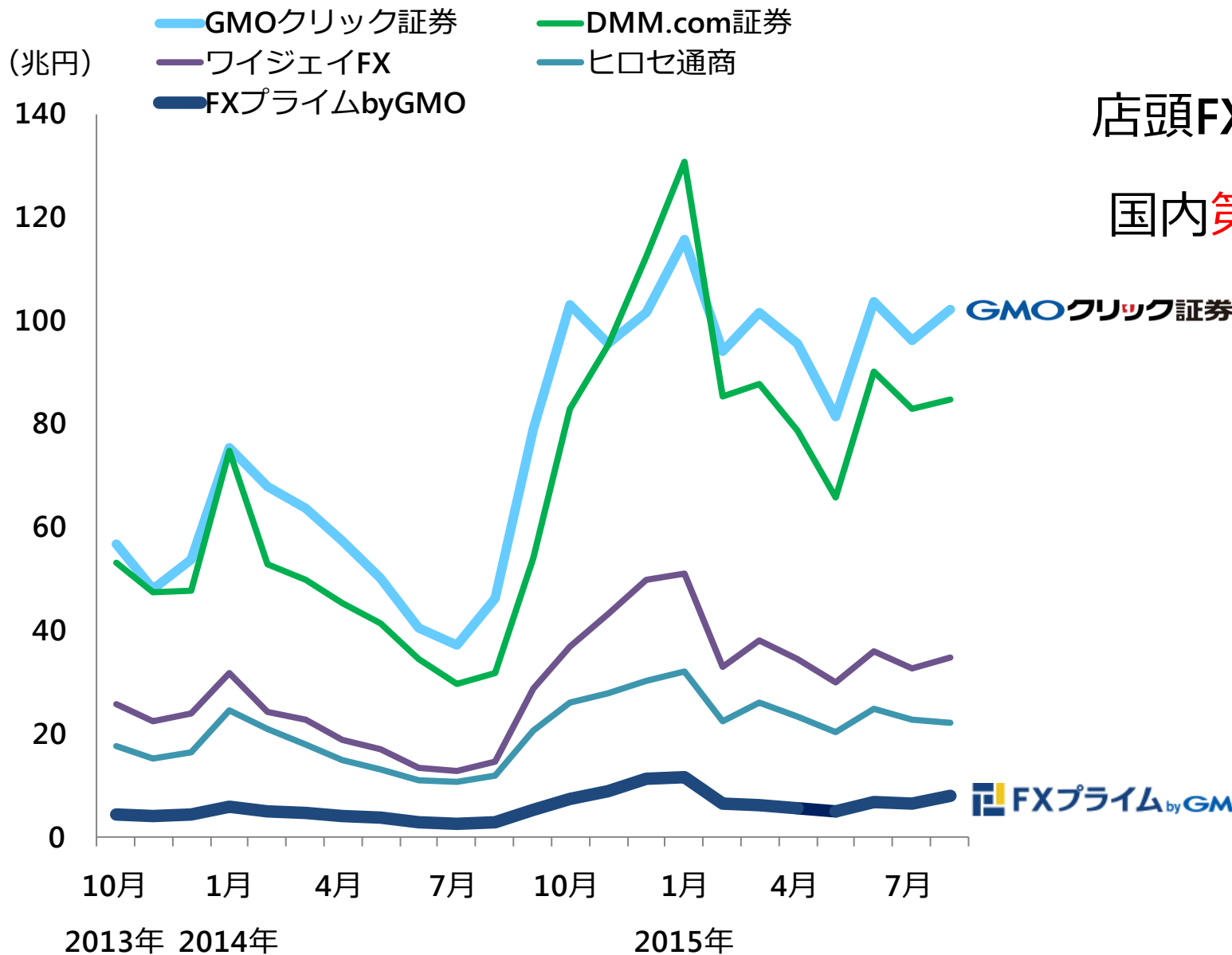
販管費全体は、今後も直近3四半期と同程度の水準で推移する見込み。主な変動要因は取引量増減に伴う支払手数料、ブランド強化等の広告宣伝費

1. 結論と要約
2. 2016年3月期2Q決算概要
3. 今後の展望と概況



ボラティリティ
上昇。取引高は
高水準で推移

出所：金融先物取引業協会、当社データより当社作成



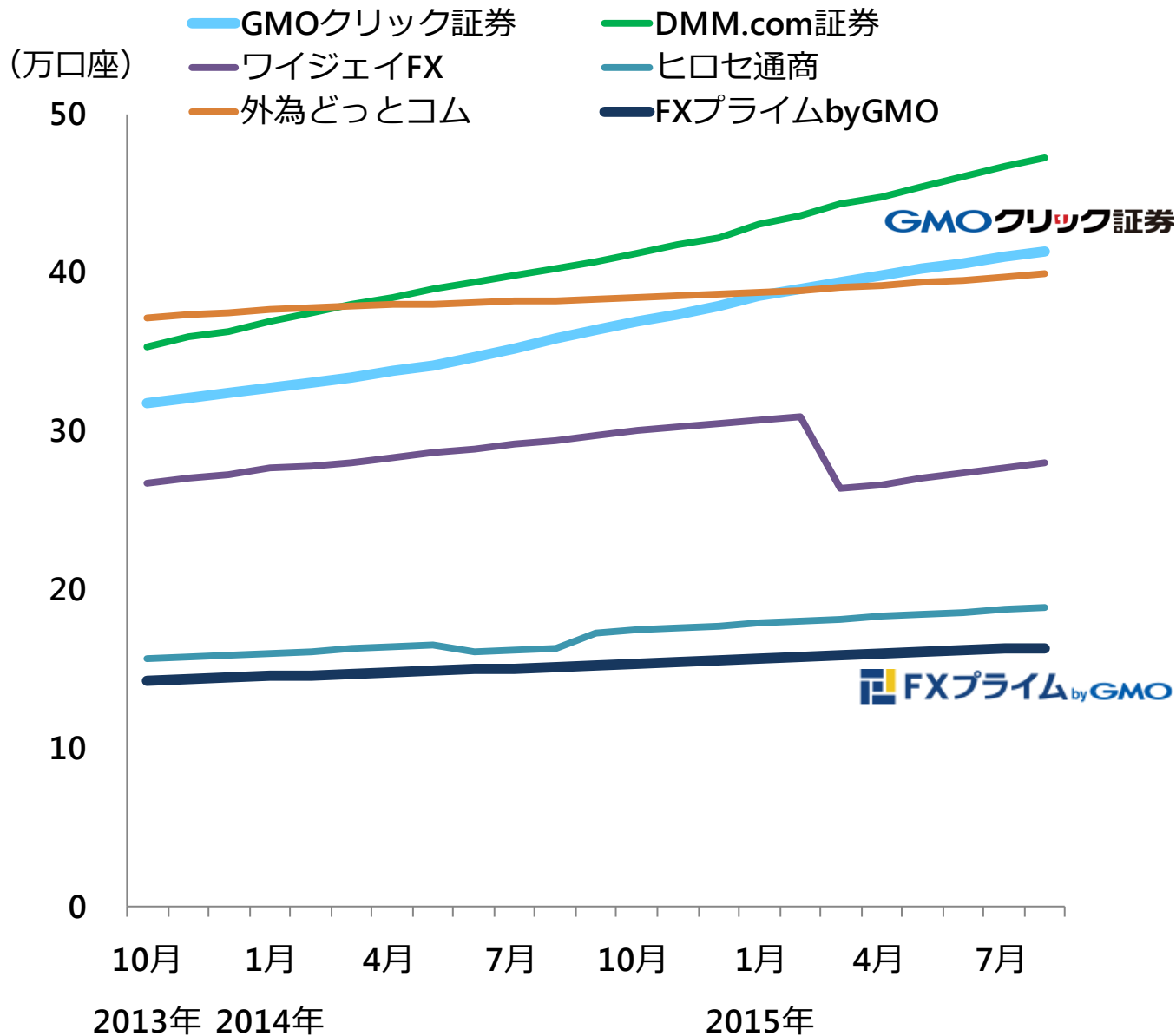
店頭FX取引高

国内第**1**位

GMOクリック証券

FXプライムbyGMO

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキングより当社作成

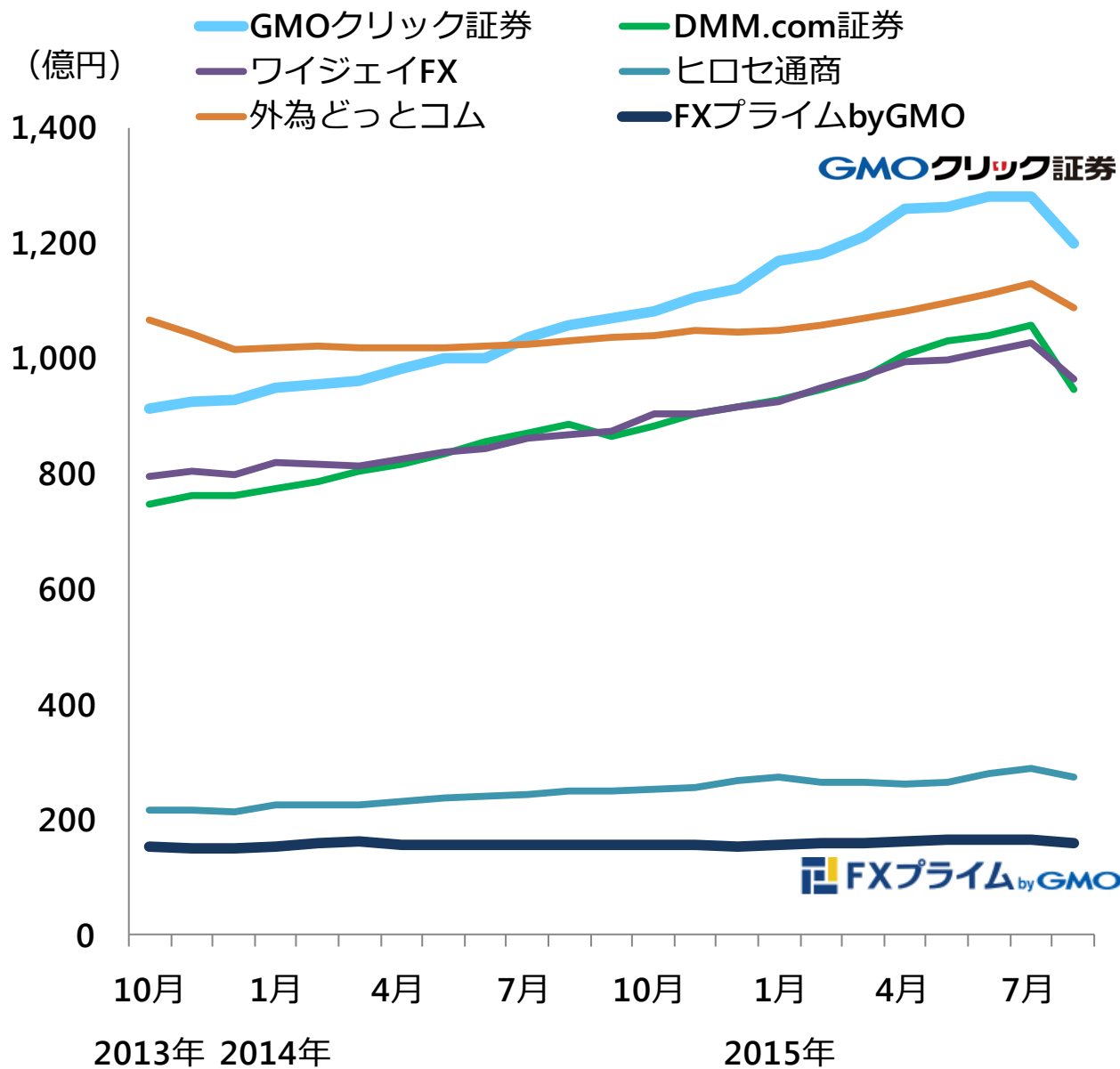


店頭FX口座数

58万口座

(9月末グループ合計)

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキングより当社作成



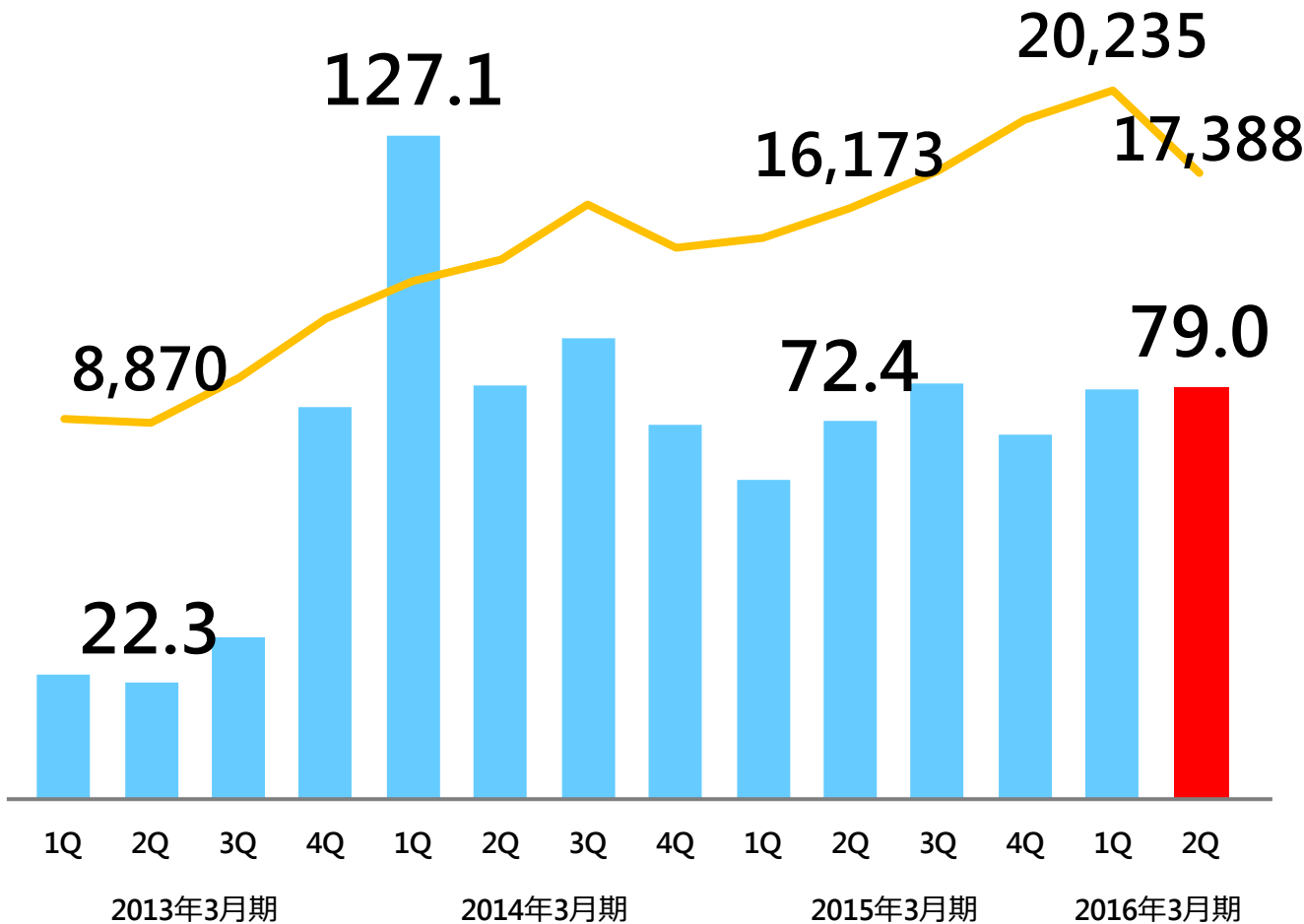
預り保証金残高は
2014年7月末以降

第1位

チャイナショックで
8月は減少

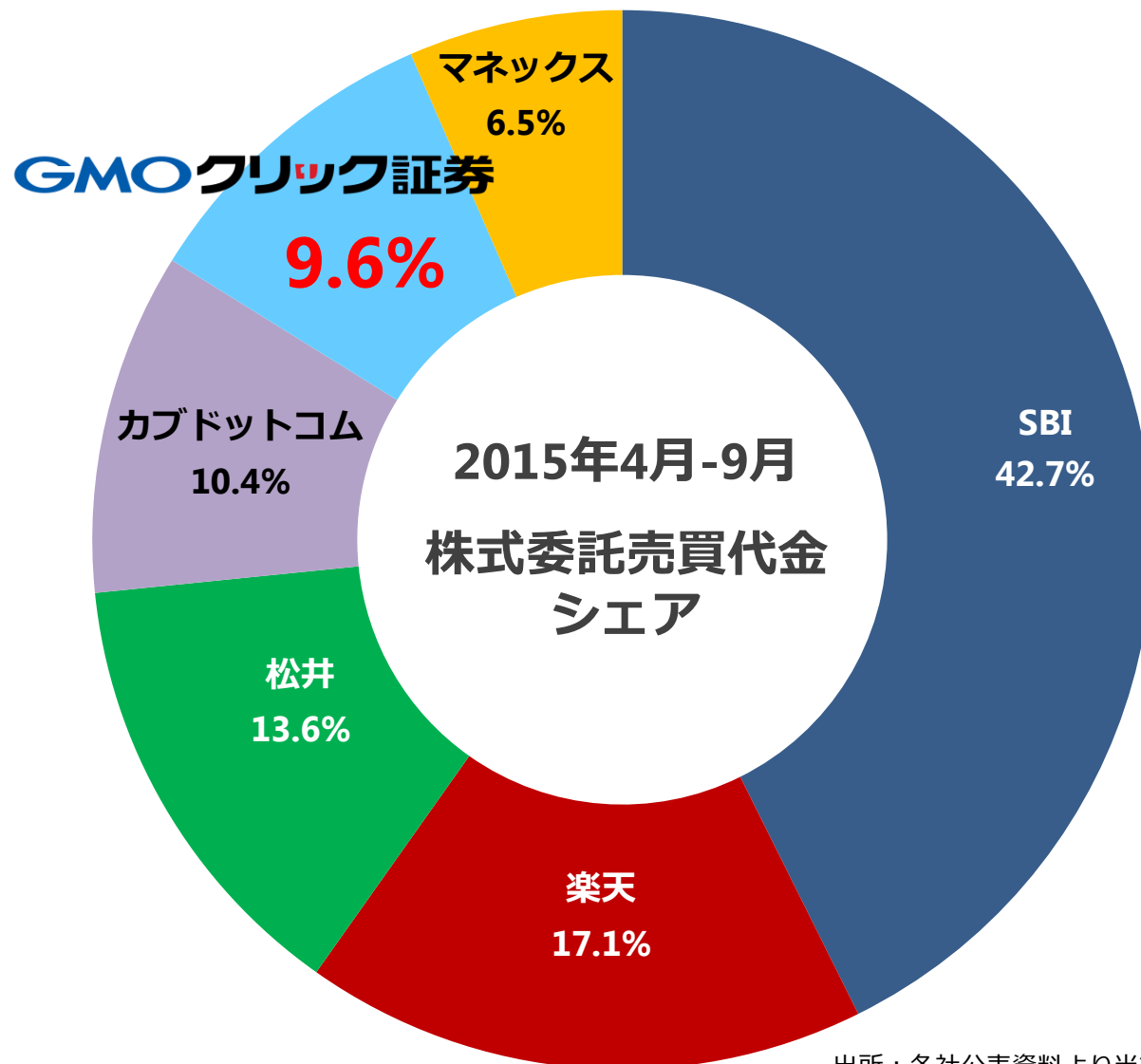
出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキングより当社作成

■ 個人株式委託売買代金 (兆円)
— 日経平均株価 (円)



株価は
1Q上昇、2Q下落
2Q売買代金は
前年同期比9%増
前四半期比1%増

出所：東京証券取引所公表資料より当社作成
※個人株式委託売買代金は二市場の合計値



株式委託売買代金

シェア第5位

出所：各社公表資料より当社作成

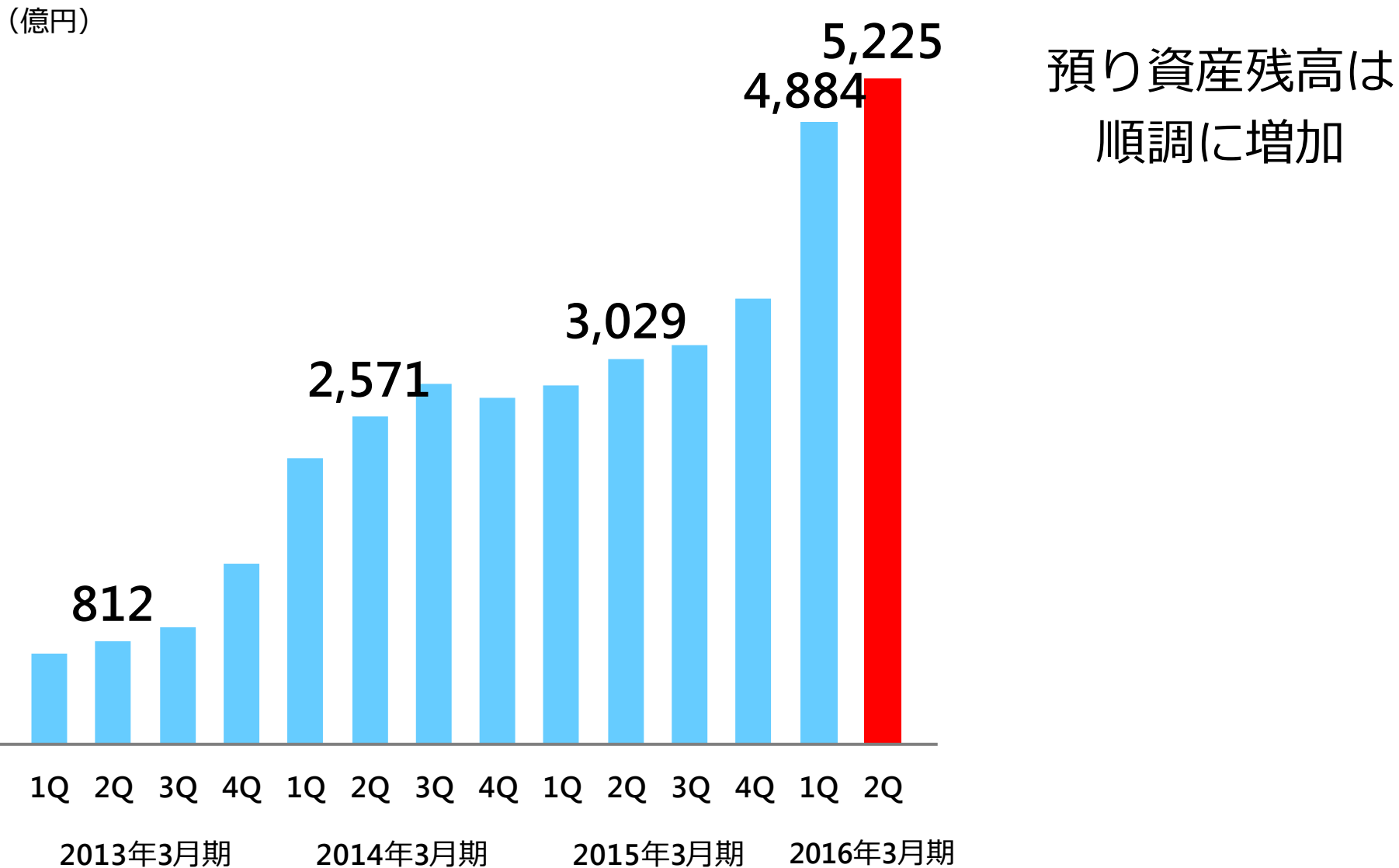
※主要ネット証券株式委託売買代金シェア：GMOクリック証券、SBI、楽天、松井、マネックス、カブドットコムの6社を全体とした場合の各社シェア

GMOクリック証券の株式手数料は、業界最安値水準

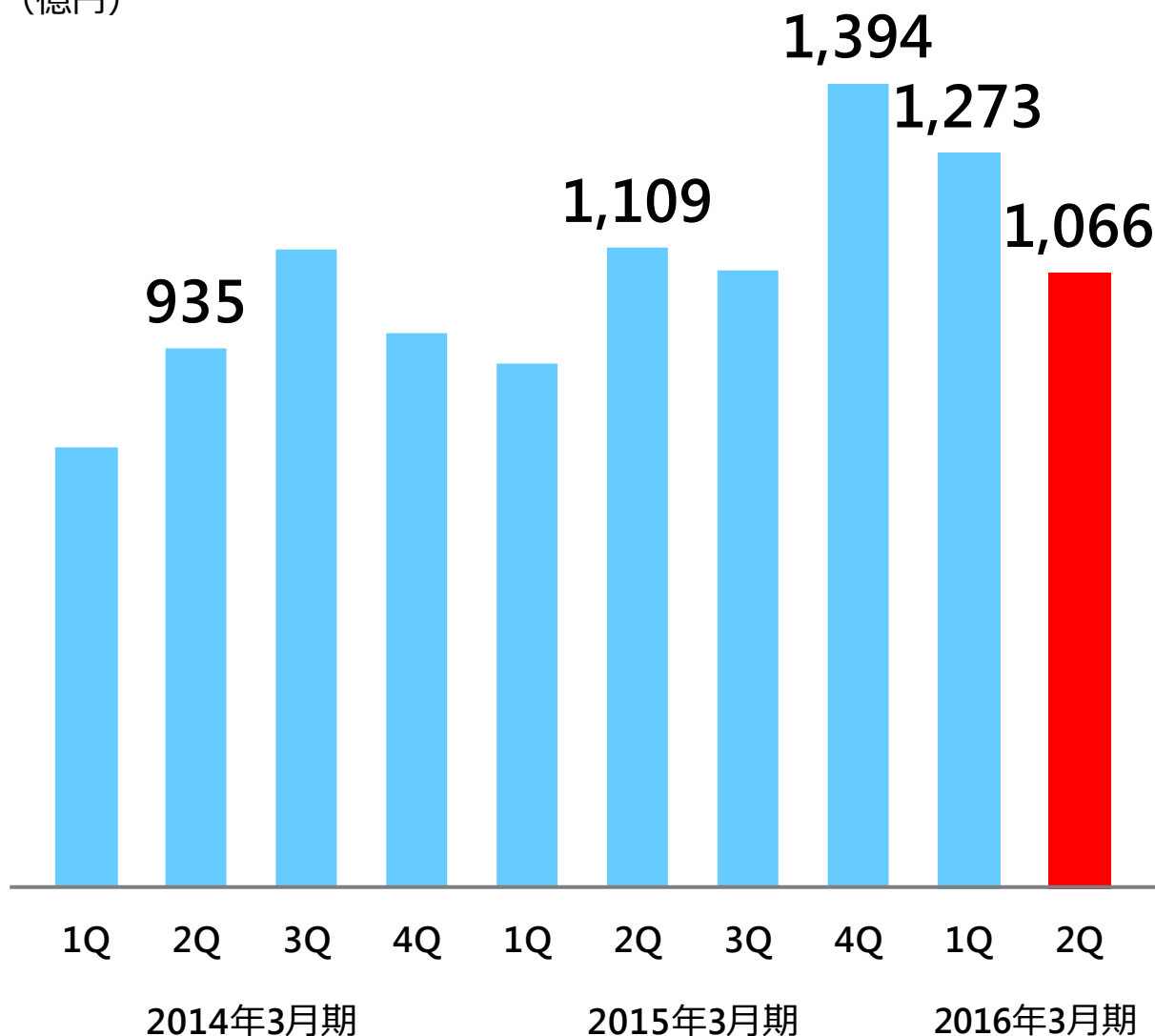
現物 1約定ごと プラン	GMOクリック	SBI (スタンダードプラン)	楽天 (ワンショットコース)	カブドットコム (インターネット)	マネックス (PC)	松井
5万円まで	98円	139円	139円	135円	100円	1約定ごと プランなし
10万円まで	98円	139円	139円	225円	100円	
15万円まで	98円	185円	185円	225円	180円	
20万円まで	98円	185円	185円	315円	180円	
25万円まで	241円	272円	341円	315円	250円	
30万円まで	241円	272円	341円	585円	250円	
40万円まで	241円	272円	341円	585円	350円	
50万円まで	241円	272円	341円	585円	450円	
55万円まで	436円	487円	609円	585円	(成行) 1,000円 (指値) 1,500円	
100万円まで	436円	487円	609円	990円		
150万円まで	528円	582円	728円	1,890円	(成行注文) 約定金額の0.1%	
200万円まで	834円	921円	1,152円	1,890円		
400万円まで	834円	921円	1,152円	3,690円	(指値注文) 約定金額の0.15%	
3,000万円まで	834円	921円	1,152円	3,690円		
3,000万円超	889円	973円	1,217円	3,690円		

出所：各社ホームページより当社作成（2015年10月22日当社調べ）

※各社手数料は税抜表示

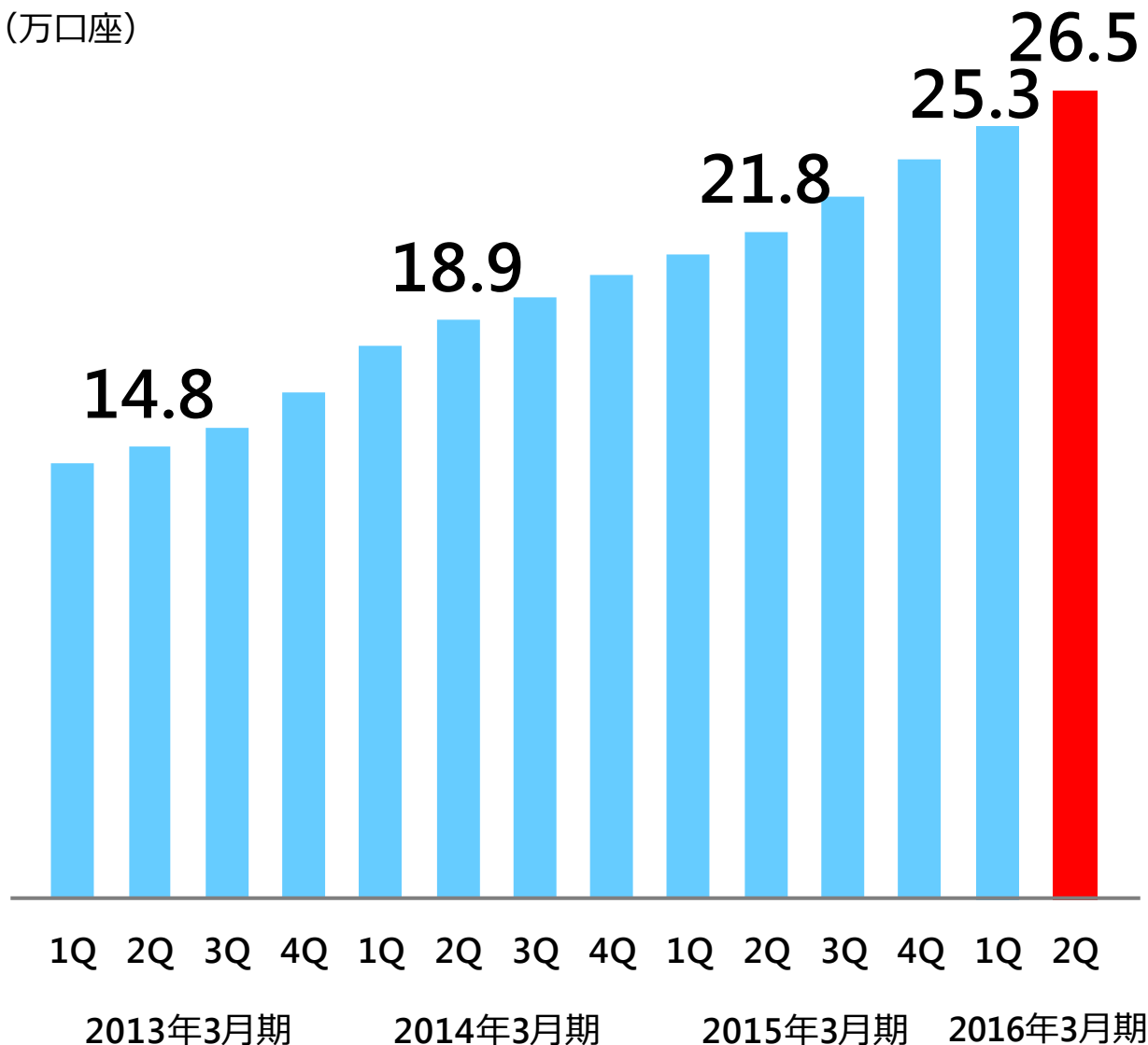


(億円)



信用取引残高は
前四半期比減少

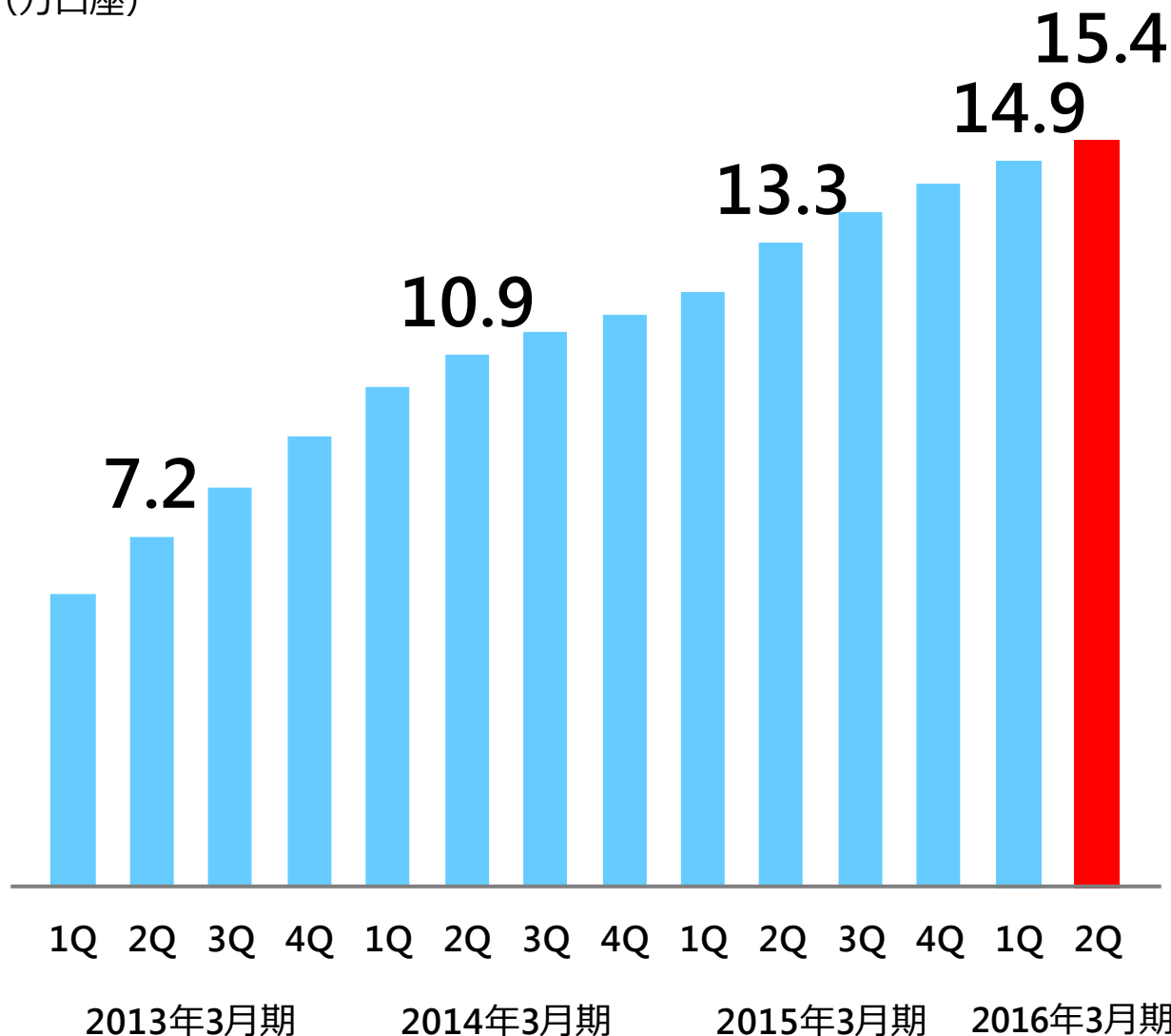
(万口座)



証券口座数は
前四半期末比

1.1万口座増

(万口座)

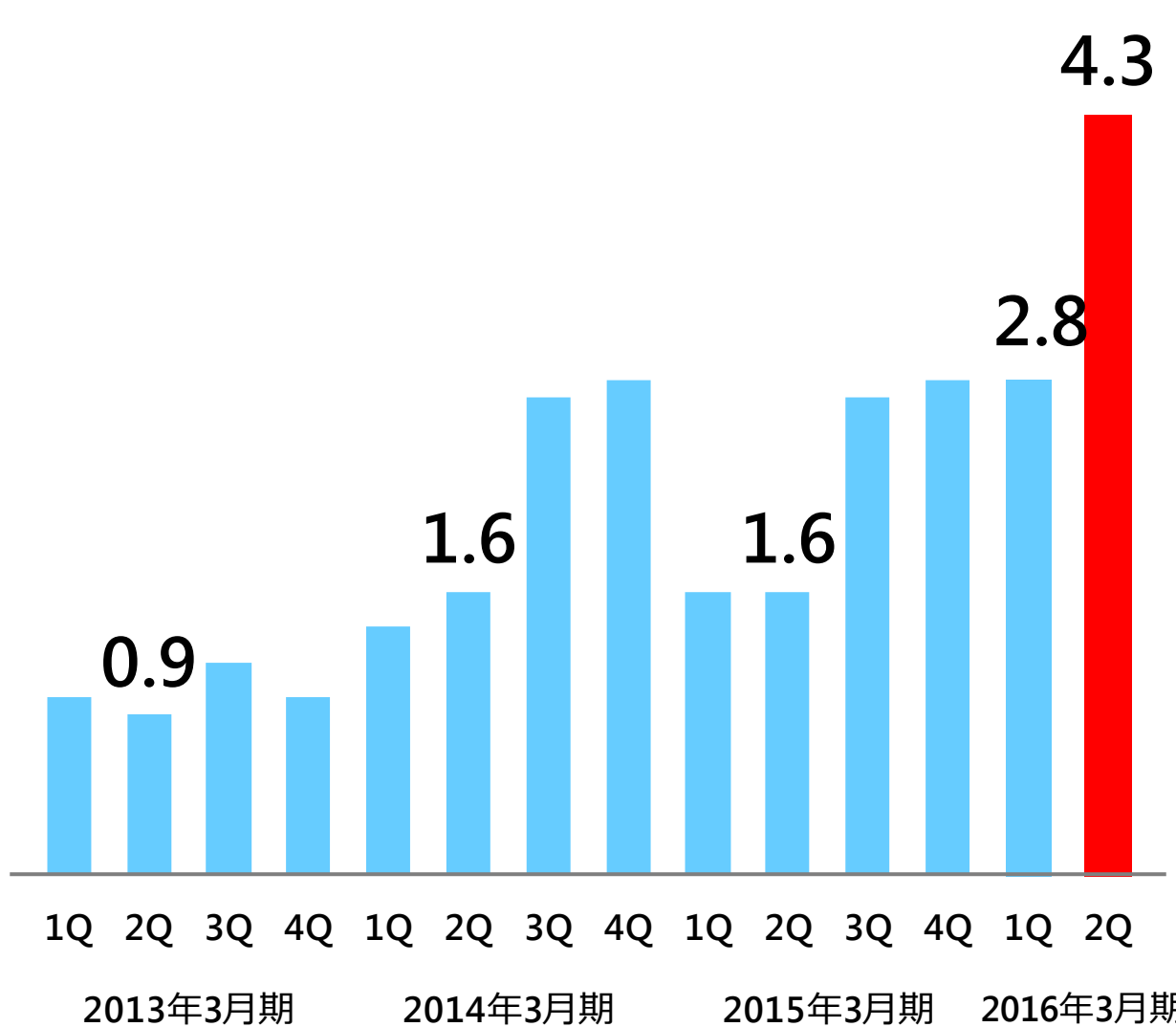


外為OP口座数は
前四半期末比

0.4万口座増

※口座数はGMOクリック証券の取引口座数を参考値として記載

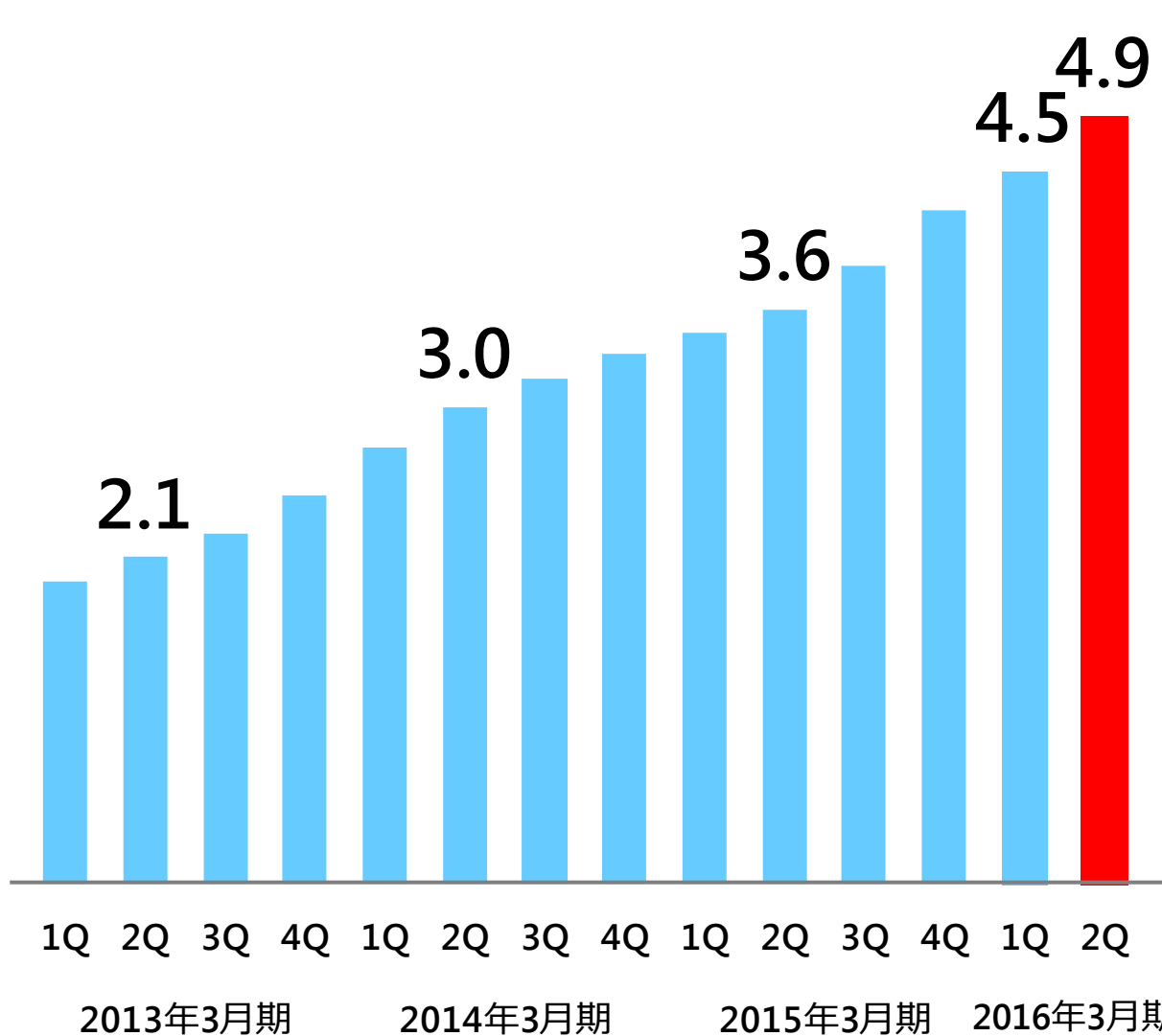
(兆円)



CFD売買代金は
前四半期末比
1.5兆円増

※売買代金はGMOクリック証券の数値を参考値として記載

(万口座)



CFD口座数は
前四半期末比

0.3万口座増

※口座数はGMOクリック証券の取引口座数を参考値として記載

1. 結論と要約
2. 2016年3月期2Q決算概要
3. 今後の展望と概況

当社グループはFXディーリング業務を システムにより完全自動化

他社



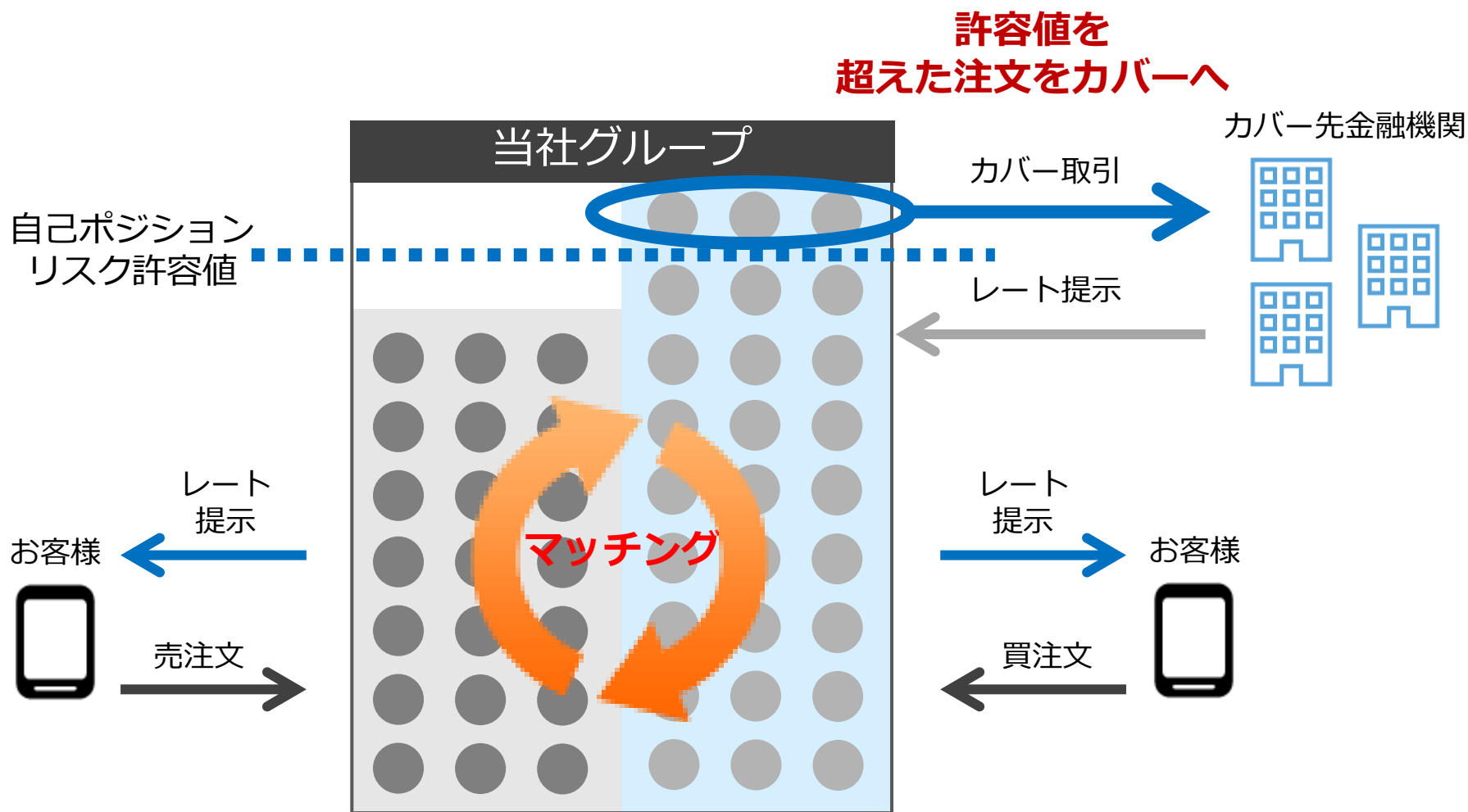
ディーラーによるトレード

当社グループ



システムによる自動化

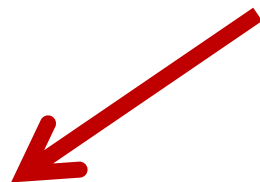
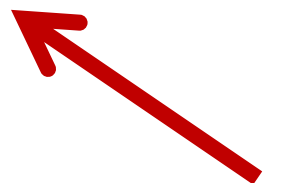
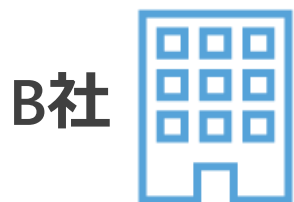
リスクマネジメントを徹底し、許容値以上の
マッチングできなかった注文を瞬時にカバー



(上記はイメージ図)

各カバー取引先の特徴を踏まえたシステム設定のチューニングにより、カバー取引の最適化を図っている

カバー先金融機関



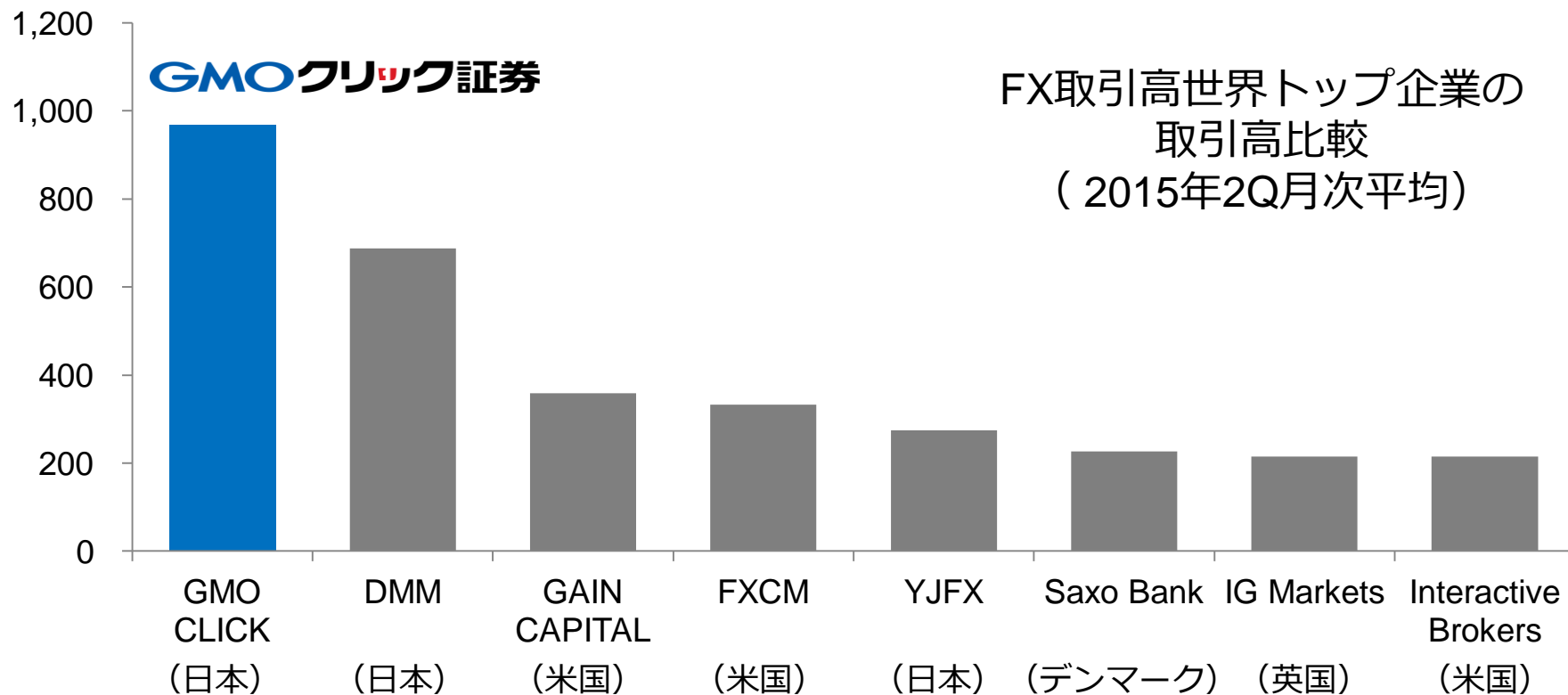
その瞬間における
最適カバー先へカバー



(上記はイメージ図)

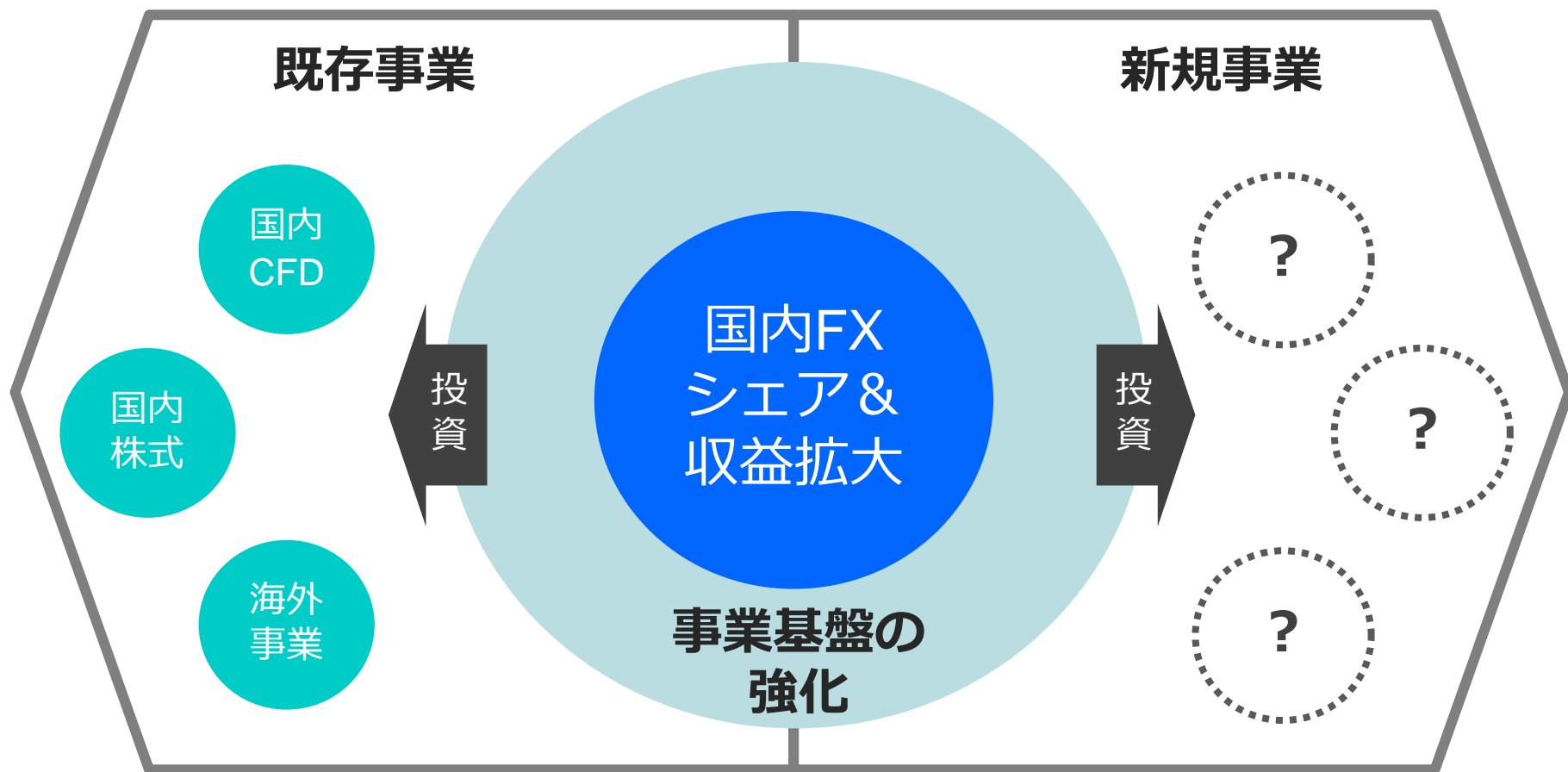
サービス開始から6年で年間FX取引高が**世界No.1**
2012年以降**3年連続No.1** (2015年上半期もNo.1)

(10億ドル)



出所：Finance Magnates調べ。上記グラフは「Q2 Report 2015 Quarterly Industry Report」を元に当社作成

収益の柱であるFXをさらに強くし、事業基盤を強化
既存事業（国内・海外）、新規事業へ投資し成長を図る



中長期目標

FX取引高シェアのさらなる拡大をベースに成長

国内
事業

- ✓ CFDを新たな収益の柱に
- ✓ 株式売買代金第3位の達成

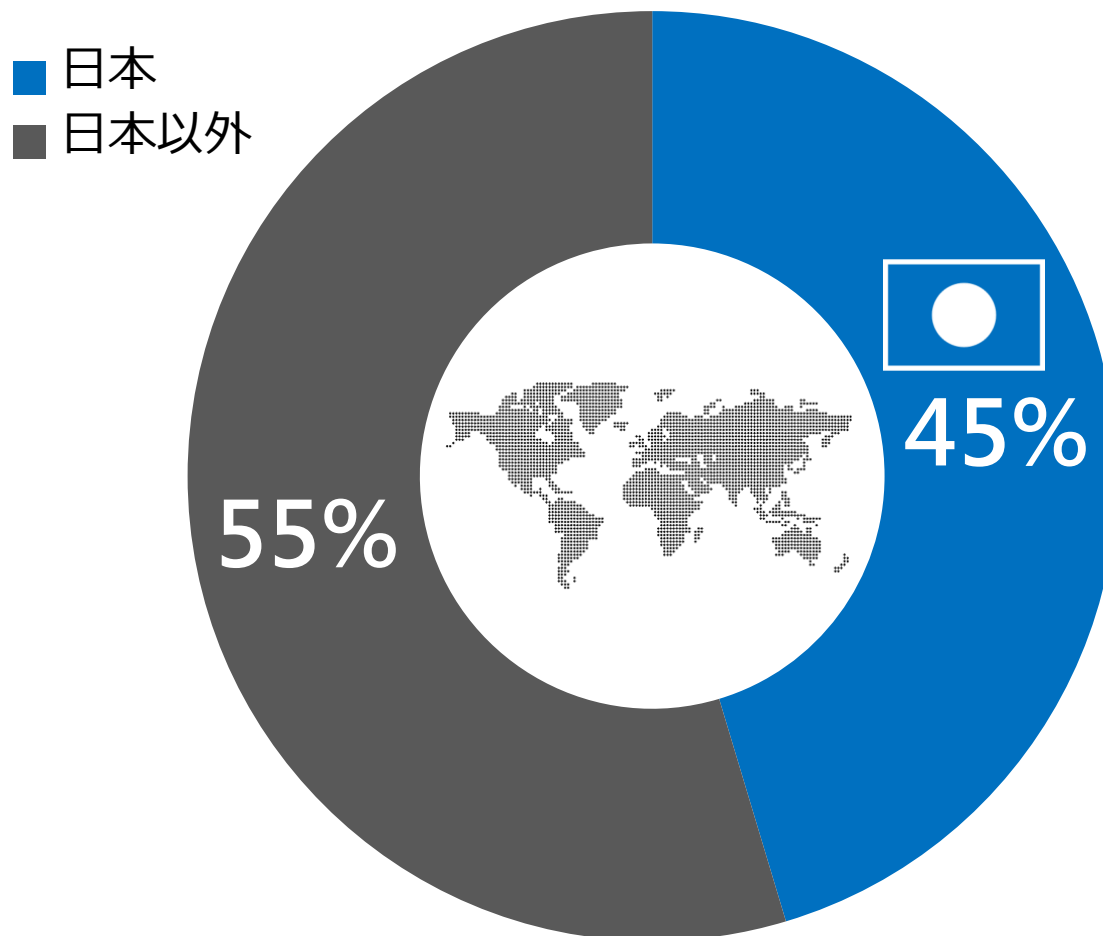
海外
事業

- ✓ 海外事業の黒字定着し攻めの体制

新規
事業

- ✓ 新たな金融商品・事業の展開

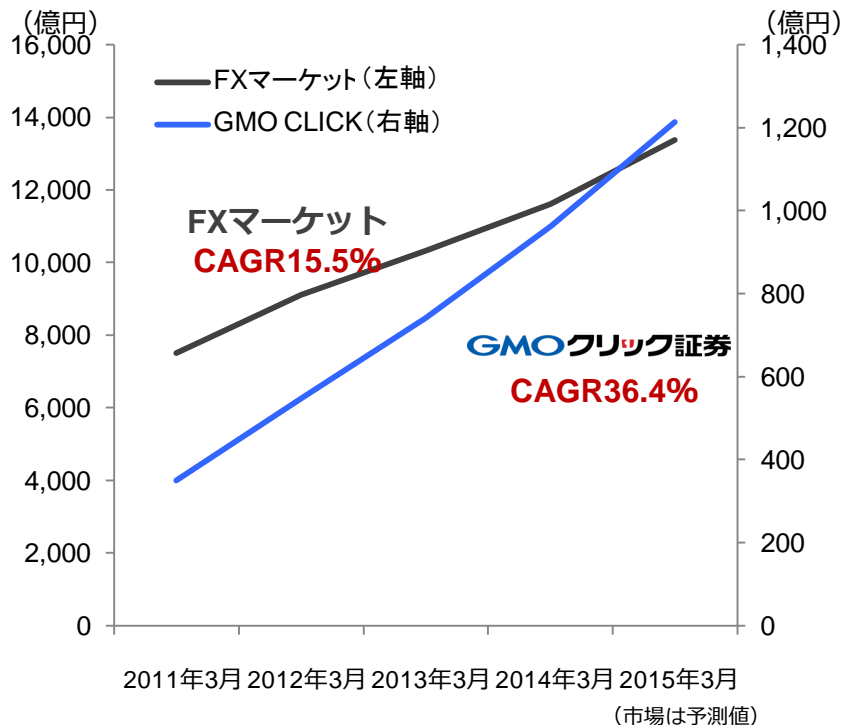
世界FX市場における日本の取引高シェアは45%と 世界で一番大きなマーケット



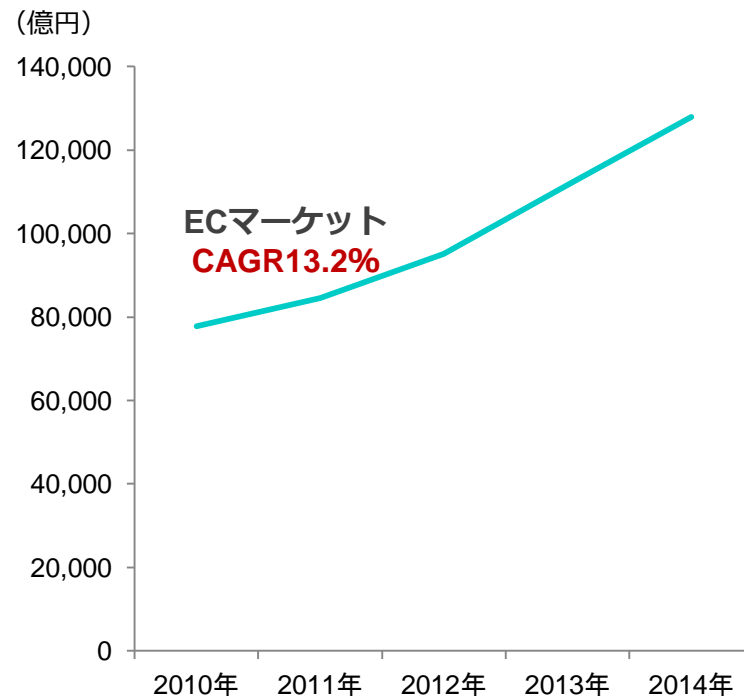
出所：Finance Magnates「Q2 Report 2015 Quarterly Industry Report」を元に当社作成

国内店頭FXは成長マーケット GMOクリック証券は市場を上回るスピードで成長

国内店頭FXマーケット
店頭FX預り証拠金残高の推移



国内ECマーケット
BtoC-EC市場規模の推移



出所：矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2014」 経済産業省「平成26年度我が国
経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」を元に当社作成
※店頭FX預り証拠金残高は各年3月末の数値。ECマーケットは各年1月～12月の数値

中長期目標

FX取引高シェアのさらなる拡大

主要施策

- 新FXシステムの導入（2016年2月リリース予定）



導入スケジュール

- 2015年11月30日：デモ取引サービス開始
- 2016年01月18日：新サービス先行取引開始
- 2016年02月08日：新サービス正式取引開始
- 2016年02月26日：現行サービス終了

※上記画像はGMOクリック証券が現在提供するiClickFXネオの取引画面の画像イメージ

中長期目標

CFDを新たな収益の柱に育てる

主要施策

- 外国株**CFD**の取扱開始、銘柄追加
- スマホアプリのリリース
- 取引ツール（PC・スマホ）の継続改善
- プロモーション強化
- クロスセル促進キャンペーン実施



クラウドファンディング事業を展開するmaneo株式会社と 資本業務提携に向けた検討を開始



業務提携の内容（案）

- GMOクリック証券WEBサイトからmaneoWEBサイトへの送客
- クラウドファンディング広場（仮称）の創設
- 個人向けハイイールド債市場の創設
- 貸付型クラウドファンディング（メザニンローン）を活用した新しい資金調達サービスの開発
- P2P（個人対個人）レンディング事業の将来的な展開検討

目標とする経営指標

自己資本当期純利益率 (ROE) **20%**

株主還元方針

配当性向の目標 **40%** (年4回の配当)

	2016年3月期 配当の状況				
	1Q	2Q (予定)	3Q	4Q	年間
1株あたり配当金	6.38円	5.60円	—	—	—
配当性向	40.1%	40.0%	—	—	—

※2016年3月期第2四半期末の配当金は現時点の予想であり、2015年11月に開催予定の取締役会にて正式に決議予定

GMOクリックホールディングス

本資料には、2015年10月23日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。